

## 同じように 育たないから おもしろい

いずれは大木となつてきれいな桜の花を咲かせるイメージはありますが、全部同じようには咲きません。一本一本違います。だからおもしろいし苦勞もするんですけどね。ここにあるのは9割がエゾヤマザクラです。ほかはチシマザクラとヤエザクラ。花が白っぽいのはチシマザクラです。種と種が交ざってできている桜もあります。どんな種類の桜なのかは、花を咲

かせてみなければ私にもわかりません。そういう楽しみもありますね。桜の名所で知られる奈良県吉野山のヨシノザクラを育ててみたこともありましたが、やはり育ちませんでした。何年かは育つけど、大きくならず枯れていく。気候風土が違いますから、寒いところでは育たないのでしょうか。育ち方は土でも違ってくるでしょう。育ち場所の土を確認すると、他よりも水分が多いということがわかりました。桜が育つには年数がかかりますので、そういうことを知るにも経験が必要だということですね。



### プロフィール

#### 寺澤篤司 (70歳)

昭和25年12月27日浜中町生まれ。

2歳のときに白糠町へ転入。妻の妙子さんと2人暮らし。趣味はハンティングとパークゴルフ。

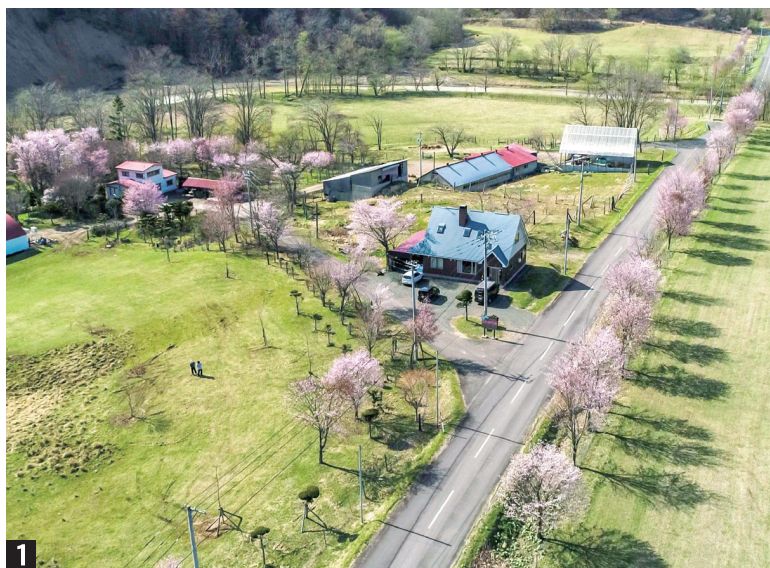
## 若いころの 経験が生きている

上庶路中学校を卒業した後、林業のアルバイトをしていました。当時、この辺りは国有林で間伐や植林の仕事がありました。ですから、木を切ることから植えることまで、若い時に経験していました。小さい頃は、よく木登りもしていましたよ。ブドウやコクワ、グズベリーなど、実のなる木が家の周りにたくさんあったので、それを

取って食べていました。木に育てられたようなもんだね(笑)。ずっと木には触れていたから、体が覚えていてということもありますね。こうした経験が今に生かされているのは間違いありません。

## 今は「桜守」が仕事

酪農の仕事をしていましたが、3年前に体調を崩して辞めました。それからは運動不足になるので、毎日道路沿いを散歩しています。



1/寺澤さんの自宅を中央に上空から見た桜並木。一人でここまで桜を育てている例は少ない。2/寺澤さん宅前には「あつしの千本桜」の看板が掲げられています。